

バリアフリーまちづくり通信

令和8年1月号

発行:東淀川区役所 地域課(企画調整)



大阪市東淀川区豊新2丁目1番4号 電話:06-4809-9927
←東淀川区役所のホームページでは詳細を掲載しています

第59回 まちづくり構想部会を開催しました 令和8年1月13日

東淀川区創設100周年記念「防災・まちづくり講演会」の情報提供や東淀川区西部地域における各地域での活動状況などについて、話し合いました。

まちづくりに関する情報提供

区役所から、昨年12月6日に大阪経済大学で行われた、東淀川区創設100周年記念「防災・まちづくり講演会」について情報提供がありました。

- ◆東京大学大学院情報学環 特任教授の片田敏孝氏による、『荒ぶる自然災害に向き合う地域防災のあり方を考える』として、近年の防災体制の課題と対策として、行政頼みの防災から住民主体となる防災対策への移行の必要性についてご講演いただいた。
- ◆近畿大学 名誉教授の久隆浩氏による、『住民主体のまちづくりの意義と方法』として、災害に対応できる協力社会の構築として、地域活動協議会に有用なネットワーク型活動と小規模多機能自治についてご講演いただいた。
- ◆大阪経済大学 准教授の臼田利之氏のファンリテートで講演者2人との対談。『防災とまちづくり』として、会場からの質問や臼田氏の質問に両先生が答える形として、東淀川区における防災活動とまちづくりについてご対談いただいた。
- ◆大阪経済大学学生によるパネル展示:臼田准教授のゼミ生によるまちづくりに関するパネル展示を行った



東淀川区創設100周年記念
防災・まちづくり講演会
変わりゆく東淀川区
未来へつなぐ「ひと」と「まち」の知恵

東淀川や淀川に面する東淀川は、上流に大規模な治水施設から中流に生活を守るため、広域一帯にわたる治水施設が整備されています。中流、下流の治水施設は、治水施設が整備されています。治水施設が整備されています。

日時 令和7(2025)年12月6日 10:00~12:30(開場 9:30)

会場 大塚経済大学 De D108 大塚経済大学(大阪市東淀川区大塚2-2-2)



地域での活動報告 & 意見交換

- 12月12日に啓発地域で行われた第2回未来会議についてご報告がありました
- ◆第2回未来会議では、「昔は良かったを振り返る」ワークショップを行った。昔は各地でイベントやお祭りが沢山あった、道路や川で遊んだなどの意見で盛り上がった。高校生からは、色々な行事に参加したいという意見が出ていた。
 - ◆他地域では、地域のお祭りで学生が参加している状況を報告。中高生がブースを仕切ったり、大学生が司会を行ったりしている。これを可能にしているのは、地域のはぐくみネットや学校への出前事業などを行い学校と連携が取れている為である。
 - ◆今回の高架化事業において、学校の6年生に授業で考えてもらうことになっている。下新庄地域のサブスローガンが決まったとのご報告がありました。
 - ◆3つに絞られた案を地域活動協議会の構成団体長の投票で1つ絞った。決まったサブスローガンは、「つなぐ・つながる・つづける」である。
 - ◆西淡路小学校の跡地については、マーケットサウンディングが終わり、今年度末、事業者公募が実施される予定。
 - ◆むくのき学園が、国際バカロレア教育の候補校に認定され、今後、活動を進める。

情報提供

- ◆柴島浄水場開発用地の都市計画変更の手続きが12月25日に終わった。
- ◆久名誉教授から「学校とは色々な連携ができるので、それぞれの地域で普段から学校との交流をどんどん進めていただきたい」とのお話がありました。